子育て ほんわかタイム
大切にしたいね、家族の会話

のべじの教育

Contents

- 旧野村家住宅離れ（行在所）夜間特別公開、国指定重要文化財・土偶愛称決定 …… 1
- 教育長からのメッセージ …… 2
- 平成30年度教育委員会主要事業 …… 3
- 教育ニュース …… 4、5
- 子どもの文化・スポーツ活動紹介、お知らせ …… 6

かしこく、やさしく、たくましく、しなやかな野辺地っ子！地域が支える野辺地の教育

発行／野辺地町教育委員会　Tel 0175-64-2119　fax 0175-64-3604

旧野村家住宅離れ（行在所）夜間特別公開　開催

ライトアップされた旧野村家住宅離れ（行在所）　撮影：髙沢　岩男氏

国指定重要文化財・土偶に愛称がつきました！

野辺地町教育員会では、野辺地町有戸鳥井平４遺跡で出土し、国の重要文化財に指定されている土偶（通称・板状立脚土偶）に親しみを持ってもらうため、愛称の募集を行いました。

愛称は、全国から２６６点の応募があり、土偶愛称選考会で厳正な審査を行った結果、「縄文　くらら」に決定しました。

命名者は福島県在住の堀　卓さん。

愛称には『縄文時代」の「縄文」に、可愛らしいイメージのある「くらら」をプラス。片仮名の「クララ」はイタリアの聖女の名前でもあり、名作アニメ「アルプスの少女ハイジ」の「クララが立った」というフレーズでも有名』という意味が込められています。

現在、「縄文　くらら」さんはレプリカ製作中につき、不在となっています。展示再開は４月中旬を予定していますので、展示再開後、ぜひ資料館に見学においでください！

「縄文 くらら」さん

河島靖岳教育長からのメッセージ

昨年10月に教育長に就任いたしました河島靖岳と申します。

教育長に就任して６ヶ月が経過する中で、野辺地町の教育について様々な課題が見えてきております。

かつて野辺地町は、国立弘前大学教育学部野辺地分校や同付属中学校を有した県内でも有数の教育の町でしたが、昨今の少子化に沿って、野辺地高校の募集定員が１学級減の決定となるなど厳しい状況にあるのが現実です。

このことは、一県立高校の縮小にとどまらず、「教育の町 のへじ」の存亡に関わる危機的な状況と認識しております。

「教育は未来への先行投資」言い古された言葉ですが、子供は未来からの使者と言われます。20年先30年先を見据え、「教育の町 のへじ」の再生に、できる限りの方策を打ち出すため、教育構想検討委員会を立ち上げるなど、様々な事業を展開し、将来、野辺地町を背負う子ども達の夢を育むための教育環境を整えたいと思います。また、社会教育やスポーツが持つ特性を活かしながら、時代を担う人財を育成し、家庭教育力の向上を支援するとともに、学校・家庭・地域が協働した環境づくりを進めたいと考えております。

野辺地町は文化や歴史の活動においてもとても活発な町であると感じております。先人にしっかり学び、この町民のパワーを最大限に活かして、積極的な教育行政を展開して参りたいと考えておりますので、皆様の教育行政に対しての御理解と御協力をお願い申し上げます。

命の保障、学力の保障、基本的生活習慣、特別支援教育の充実のために

○学校教育課指導室の設置（TEL：64－2195）

主任指導主事級の指導主事と学力向上指導員及び専門員の３人体制により、学校教育全般の指導体制を整え、児童・生徒の学力向上や体力向上などの、充実した教育実践を展開するためのバックアップをして参ります。

○教育相談室の設置（TEL：64－9657）

適応指導員とスクールソーシャルワーカー及び臨時職員の３人体制により、様々な教育相談を受け、不登校傾向にある児童・生徒の「子ども達の心の居場所づくり」を図り、自立に向けた支援を行います。

平成30年度 野辺地町教育委員会の主要事業

◆学校教育

授業の充実

○学力向上指導員の配置（４月～）　○外国語補助員の配置（４月～）
○予備校講習費用を助成（国公立・県立大学へ入学希望の町内高等学校生徒対象）（４月～）

特別活動の充実

○大会派遣費（小・中学校）の補助（４月～）
○小・中学校作品展及び音楽交歓会の開催（10月）
○ふれあい教育フェスティバル（11月）

体育・健康教育の充実

○バイキング給食の日実施　○学童スキー大会の開催（２月）

生徒指導の充実

○野辺地町いじめ防止基本方針に基づいた学校へのより一層の周知
○スクールカウンセラーの配置（４月～）

特別支援教育の充実

○スクールサポーターの配置（４月～）　○通級指導教室への支援員の配置（４月～）

国際化、情報化に対応する教育の推進

○外国語指導助手（ＡＬＴ）の活用や充実（４月～）
○イングリッシュ・ディの開催　○ＩＣＴを活用した情報教育の推進

教育環境の充実

○学校教育課指導室の設置　（新規）
○教育相談室の設置　（新規）

◆社会教育・スポーツ

一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

○みんなの教室（４月～11月）　○のへじ元気講座（５月～12月）
○野辺地町文化祭（10月27・28日、11月２～４日）

次世代を担う青少年の育成

○文化少年団活動（６月～12月）　○ハッチョウトンボ観察会（７月）
○ふるさと探偵団（８月）　○ふれあい通学合宿（９月）
○ふれあい教育フェスティバル（10月）　○子ども司書クラブ（４月～３月）
○社会教育団体（在学青年ボランティア会・子ども会）の育成

地域を支える人材育成

○生涯学習大学講座（７月～12月）

学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力向上

○家庭教育推進事業　○いのちのお話出前講座（11月）
○親子ふれあい読書の奨励（ブックスタート事業、ヨチヨチおはなし会）
○学校等と連携協力した読書活動の推進（朝の読書読み聞かせ等）

青少年・競技・生涯スポーツの振興及び推進

○スポーツ少年団の育成　○大会派遣費（小・中スポーツ団体）の補助（４月～）
○青森県民駅伝競走大会参加　○スポーツ推進委員の活用
○競技スポーツ強化支援事業
○スポーツ施設の整備・運営
○各種スポーツ大会・教室（野球・水泳・スキー）の開催
○スポーツカレンダーの発行（５月）

文化財の保存・活用

○のへじ古文書講座（５月～３月）　○旧野村家住宅離れ（行在所）の一般公開（４月～11月）

学校や各種団体の年間の行事予定をホームページでお知らせします。

http://www.town.noheji.aomori.jp

イングリッシュデイ 高校生が伝える英語の楽しさ

12月16日、中央公民館において「野辺地町イングリッシュデイ」を開催しました。

当日は、町内小中学生13名と近隣市町村から外国語指導助手（ＡＬＴ）４名が集まり、英語で文化交流をしました。

参加した児童生徒は、ＡＬＴと一緒に英語で書かれたレシピを解読しながらのクッキー作りや、書道体験をして英語への興味を深めていました。

県立野辺地高等学校と八戸学院野辺地西高等学校の10名の生徒が主体となって企画・運営を行い、参加者とともに４つのグループに分かれて英語漬けの１日を過ごしました。

イングリッシュデイ参加者と４名のＡＬＴ

楽しく英語で会話 新たなまちのコミュニティ

教育委員会ではＡＬＴを講師として、町内に在住する方を対象に英会話教室（Ｅ教室）を６月から毎週月曜に実施していました。

今年度はより英会話に重点を置き、文化の違いなどさまざまなテーマに沿ってＡＬＴと受講者が自由に英会話を楽しみ、受講者同士の交流も深めていました。

来年度以降も町民の方が英会話に触れる機会を作るための教室の開講を予定しております。受講者のほとんどが仕事終わりなどに参加していますので、「英語に触れたいけどなかなか時間がない…」という方も是非御参加ください。

Ｅ教室受講者とＡＬＴ

第52回 野辺地町 学童スキー大会

２月16日、第52回目となる学童スキー大会が、馬門スキー場で開催されました。

昨年はあいにくの雨により打切りとなってしまいましたが、今年は天候に恵まれ、万全の状態で開催することができました。

町内３校の小学生２８７名の選手たちは、寒空のなか力いっぱい雪上を走り抜けていました。

直前の大雪と寒波により、木からの落雪が考えられたため、コースを一部変更して開催し、両競技ともけが人なく無事に大会を終了することができました。

御協力いただいたスキークラブとＰＴＡ役員の皆様の御協力に感謝申し上げます。

リレーで競い合う３校の選手

野辺地町の高校生たちの活動

野辺地高等学校 ～陸上部～

野辺地高校陸上部は、昨年春から、ユニフォームを新調し、新チームがスタートしました。

高校総体や新人戦では４００メートルリレー決勝進出、東北大会では、３名の選手が出場し、２００メートルで４位入賞を果たしました。

また、女子高校駅伝では、３年連続東北大会出場と、部員全員で切磋琢磨し、一年間頑張り抜くことができました。

陸上部は、歴代の顧問の先生方や卒業生、地域の支えの積み重ねで、今があります。

感謝や恩返しの心をしっかりと持ち、今シーズンは全国大会も視野に入れて精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いします。

野辺地高校陸上部のメンバー

八戸学院野辺地西高等学校 ～サッカー部～

野辺地西高校サッカー部は「原点回帰」の言葉のもと、常に初心を忘れずに何事も謙虚に取り組んでいくことを部訓とし、サッカーの技術だけでなく人間性を磨くことに力を入れ日々活動しています。

今年度は高校総体、新人戦、選手権とすべて決勝で青森山田に敗れ力不足を痛感させられました。

今後は更なる人間性を磨くことに力を入れ、劣勢になったときこそ、培ってきた困難や辛抱から学んだ忍耐力を自信に変え、試合の中で自分たちの持ち味を最大限発揮できる力を身に付けたいと考えています。

野辺地町の皆様の協力と応援により青森山田高校に勝つのは野辺地西高校であるという自負のもとに頑張りたいと思います。

掲げられた「原点回帰」の言葉

第8回野辺地町ふれあい教育フェスティバル

10月9日に町立体育館において「新体操の華麗な世界と生涯スポーツの魅力」をテーマにふれあい教育フェスティバルを開催いたしました。

今回のフェスティバルは、競技・生涯スポーツの各分野で活躍している団体を招き、家族のふれあいを深めるきっかけとなることを目的としています。

青森山田高等学校体操部は、これまで出場したインターハイ13回・選抜大会12回の団体優勝を成し遂げており、当日は、男女生徒48人が10演技を披露し、600人以上の来場者を魅了しました。

また、日本3B体操協会青森県支部指導者25名が、3つの用具を使った2演技を、更に当町のあすなろレディース18人が2演技を披露して、生涯スポーツの素晴らしさを披露しました。

華麗な演技を披露する山田高校体操部

第14回ふれあい通学合宿開催

自立心の養成やコミュニケーション能力の育成を図ることを目的として、町の子どもたちが公民館を宿泊場所として、学校に通学しながら、身の回りのことなどの居・食・住を協力しあいながら生活する「ふれあい通学合宿」も今年で14回目の実施となりました。

今年は小学校5年生から中学生まで合わせて17名が参加し、9月7日から2泊3日の日程で行われました。

2日目のレクリエーションでは、ふれあい教育フェスティバルで出演する日本3B体操協会の指導者による体験教室が行われました。

3B体操で体を動かす合宿参加児童

小学校3年生ハッチョウトンボを観察

青森県の希少な野生生物としてレッドデータに指定され、世界でも最小の部類に属する「ハッチョウトンボ」の観察会を、7月7日、まかど温泉スキー場の生息地で行いました。

観察会は今年で8回目で、自然を大切に思う心や郷土愛を育んでもらおうと、町内小学校の3年生全員と町民ら約120人が参加しました。

観察会では、保護区の中でトンボを探しながら講師の高沢岩男氏による説明のほか、屋内でハッチョウトンボの生態を通した環境保護について学びました。

目を凝らしてトンボを探す児童

高校生ボランティア活動 地域の方とのふれあい

2月10日、野辺地高校と野辺地西高校のボランティア部で構成する「野辺地町在学青年ボランティア会」の活動の一環として、町内の一人暮らし高齢者宅を訪問し、除雪作業と手作りお菓子のプレゼントを行う「一人暮らし高齢者宅訪問事業」を実施しました。

参加した18名の生徒からは「達成感があった」、「地域の人とふれあえてよかった」といった声が聞こえ、活動を通して思いやりの心や助け合いの精神を学びました。

町制施行120周年記念のへじスポーツ史を発刊しました！

町制施行120周年を記念して、「のへじスポーツ史」を発刊いたしました。

当記念誌は、町制施行100周年以降20年間の町のスポーツの歴史や各スポーツ団体の活動の変遷を取りまとめております。

また、100周年記念スポーツ史と併せて御覧いただくと、より当町のスポーツの歴史が分かる内容になっております。

どちらも教育委員会にて販売しておりますので、是非御覧ください。

小中学校大会派遣事業 競技スポーツ強化支援事業

町では、町内小・中学校に在籍する児童生徒の文化・スポーツ活動を支援するため、各種大会出場に係る費用を補助しております。

また、町内小・中・高等学校に在籍する児童生徒を対象に、東北規模以上の大会出場に向けて、遠征費等の選手強化費を助成することで、上位入賞を支援し、選手育成と競技力向上を目指しております。

平成29年度、東北・全国大会に出場した補助金交付団体を紹介します。今後の選手皆さんの活躍を期待しております。

【全国大会】
野辺地中学校（ハンドボール部、柔道部、スキー部、全日本軟式野球連盟県支部選抜女子）、野辺地高校（スキー部）、卓球スポーツ少年団（小学生）、空手道連盟（小学生、中学生）ジュニアレスリングクラブ（小学生）、馬門クロカンスポーツクラブ（小学生）、若葉小学校（スキー）

【東北大会】
野辺地中学校（ハンドボール部、柔道部、スキー部）、野辺地高校（ハンドボール部、陸上競技部、スキー部）、県ハンドボール協会選抜女子（中学生）

学校や各種団体の年間の行事予定をホームページでお知らせします。
http://www.town.noheji.aomori.jp

文化・スポーツ活動に子どもたち集まれ！

子ども会　入会募集

子ども会名	育成会代表者	
下町一区子ども会	村木　亜弓	090-9745-4631
Ｄ５１（駅前）子ども会	木村　正代	64-0575
城内子ども会	滝澤　麻佳	090-5590-4544
浜町子ども会	星川　大輔	64-4359
金沢町子ども会	目時　慶太	090-6789-6625
下袋町子ども会	及川　重則	090-4060-5891
馬門子ども会	亀田　尚武	64-4482

■主な活動
①のへじ祇園まつり参加　②ラジオ体操
③各種お楽しみ会　④サマー体験

■そ の 他
1）子ども会への入会は強制ではありません。
2）後日、学校を通して申込書が配布されます。
3）住んでいる地区に子ども会がなく、入会を希望される方は、町教育委員会（TEL64－2119）へ御相談ください。

文化少年団　団員募集

少年団名	活動日・時間		活動費
子ども将棋少年団	第２・４日曜日	９：00～	1,000円
料理少年団	第４土曜日	９：30～	2,000円
茶道少年団	第２土曜日	９：00～	2,000円
版画少年団	第２・４土曜日	13：00～	2,000円
郷土カルタと百人一首を楽しむ会	第２・４土曜日	13：00～	1,000円

■対　　象　小学生・中学生
（版画は小学校２年生から）
■活動期間　６月～ 12月
■活動場所　中央公民館
■申し込み　５月25日（金）までに中央公民館（64－3054）
結団式は、６月２日（土）
午前９時30分から、中央公民館で行います。
※活動日・**時間は変更になる場合もあります。**

スポーツ少年団　団員募集

（スポーツは友達！みんなで少年団の仲間になろう）

・野辺地町では10のスポーツ少年団が活動しています。興味のある方は、町教育委員会（TEL64－2119）へ御連絡ください。

少　年　団　名	
ハンドボールスポーツ少年団	野球スポーツ少年団
柔道スポーツ少年団	陸上競技スポーツ少年団
ジュニアバドミントンスポーツ少年団	卓球スポーツ少年団
バスケットボールスポーツ少年団	体操スポーツ少年団
剣道スポーツ少年団	サッカークラブスポーツ少年団

学校給食費納入のお願い

学校給食費は、保護者の皆様の給食費で賄っております。

学校給食費は、５月末から２月末まで口座引落しを実施しています。

残高不足で引落しできない保護者多いので、毎月通帳の確認をお願いします。

引落しできない場合は、納付書を送付しますので期限までに必ず納入するようお願いします。

給食センター（TEL64－2886）

中央公民館からのお願い

入館の際に、玄関前で靴の汚れを落としてください。

公民館は、各種行事や会議･研修会など、町内外の多くの方に使用していただいており、床滑り防止及び利便性の観点から、館内の一部にジュウタンを敷いております。

そこで、皆さんにきれいな状態で利用していただきたいため、玄関前で靴の汚れを落としてくださるよう、御協力をお願いいたします。

中央公民館（TEL64-3054）

歴史民俗資料館からのお知らせ

歴史民俗資料館では、来館者の利便性向上のため、一部を除き館内を**土足化**することとしました。

皆様のご来館を心よりお待ちしています！

◆開始日
平成30年４月１日（日）～

◆土足で入れる場所
玄関・ホール・展示室・トイレ・事務室

◆土足で入れない場所
収蔵庫・研修室・研究室
（※館内専用スリッパに履き替え）

歴史民俗資料館（TEL64-9494）